

WAFCA ホットニュース

★第160号★2017/12/26 発行



WAFCA への連絡はコチラからどうぞ。

〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆきそう内
TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL <http://wafca.jp> もチェックを！
※所属などの変更の際はお知らせください。またこのニュースはE-mailアドレスをお持ちでない方に送付しています。アドレスをお持ちの方は上記までご連絡下さい。

☆☆☆ 目次 ☆☆☆



- [1] インドネシア 車いすサービス活動の「協働の輪」が広がっています！
- [2] ブカシ県知事表彰をいただきました
- [3] タイ 新しい取組み 理学療法士による車いすアセスメント(診断)&フィッティング「政岡基金記念式典」にて車いす寄贈
- [4] 日本 東邦ガスさんクリスマスパーティでポッチャ体験を行いました
- [5] 愛知県犬山市立東小学校の子どもたちからブルトップを受取りました

[1] インドネシア 車いすサービス活動の「協働の輪」が広がっています！

◆車いす組立研修

～障がい当事者団体にて (11/28-30)～

ジャカルタの隣ブカシにある障がい当事者団体クベパンチャでは、日頃からお菓子づくりやパソコン教室などを行って障がい者の自立を応援しています。車いす使用者が多いため、WAFCAIスタッフによる車いす修理研修を3日間行いました。車いす使用者の安全と使いやすさを考慮しながら、必要な部分を丁寧に修理していきます。今後も定期的にフォローアップ研修を続け、将来的にはブカシ市内の車いす修理センターになってもらうことを目指しています！



組立に取り込む皆さんと指導するWAFCAI スタッフ(右)



研修に参加した皆さんとWAFCAI スタッフ(左)

◆車いす申請者への診断活動

～タンゲラン県、ポゴール県にて～

私立ヘルミナ・タンゲラン病院(11/21)

ヘルミナ病院の理学療法士のスタッフに車いすの採寸・フィッティングの方法の指導をし、10名の患者さんの状態チェックをしました。来年1月に車いすを提供します！



国立リハビリ職業訓練センター(12/11-12)

上記同様の指導を国立リハビリセンターのスタッフにも実施し、その後実際に地域内の障がい児に対して実践を行いました。

こちらも来年1月に車いすを届けます！



[2] ブカシ県知事表彰をいただきました！(12/13)

WAFCAI がブカシ県で活動を開始してからこれまでに、県の社会局と協働で合計60台の車いすを寄贈したこと、2校の学校バリアフリーサポートを進めたこと等が評価されました。これもいつも応援してくださる皆さんのおかげです。インドネシアから心を込めて“テリマカシー！(ありがとうございました)”



[3] タイ 新しい取組み 理学療法士による車いすアセスメント(診断) & フィッティング 「政岡基金記念式典」にて車いす寄贈(12/16)

◆理学療法士による車いすアセスメント&フィッティング

車いすは靴と同じ・・・身体の状態や使う目的・環境に合わなければ使わなくなってしまうたり、身体に負担をかけてしまうケースもあります。そこで理学療法士、サンサニーさんが新たにスタッフとしてWAFCATに加わり、11月より車いす寄贈前のアセスメントとフィッティングを開始しました。最初の訪問県は中部チャチュンサオ県と東部チャンタプリー県で、アセスメントの結果、23名の子どもたちに車いすを寄贈することになりました。その後、約1ヶ月間かけて車いすを調達し、スタッフが姿勢を保つクッションを縫い、「WAFCAT政岡基金記念式典」でこれらの車いすを子どもたちに寄贈できるよう準備しました。



アセスメントをする理学療法士サンサニーさん(左)

◆12/16(土)「政岡基金記念式典」開催！

2015年1月30日にWAFCAT政岡 勲前副理事長が急逝してから約3年が経ちました。故前副理事長の遺志を継ぎ開設された「政岡基金」の記念式典を昨年度に続き、中部チャチュンサオ県特殊教育センターにて開催しました。式典に先立ち、用意した車いすを一人ずつフィッティングしました。その様子を保護者やセンターの職員の方々に見てもらい、身体に合った車いすの重要性を啓発しました。式では、7台の車いす、歩行器を寄贈しました。基金の発起人である奥様の政岡絢子(じゅんこ)さんは、「3年前に主人が亡くなった時はただ悲しいだけでした。寂しい気持ちは変わりませんが、政岡の名が基金として残り、タイの障がいのある子どもたちやご家族のお役に立てていることを今は嬉しく誇りに思います。主人もこの素晴らしい式典の様子を天国から見て、きっと喜んでいると思います。」とスピーチされ、出席した子どもたちやご家族に記念品と励ましの言葉を送りました。



フィッティングするようす



車いすを寄贈する政岡絢子さん(右)

現在、基金は定期口座で管理し、利子や新たな寄付金で車いすの寄贈を行っています。ご支援の受付は通年で行っています。お問い合わせはWAFCAまで！



寄贈式に参加した皆さん

[4] 日本 東邦ガスさんクリスマスパーティで ポッチャ体験を行いました(12/10)

東海市にある東邦ガスガスエネルギー館にて「クリスマスパーティ 2017」が盛大に開催され、障がい者スポーツ「ポッチャ」の体験を行いました。子どもたちや保護者の皆さんの多くは「ポッチャ」を知らなかったですが、体験後は「とても楽しく、またやりたい」「障がい者スポーツと知らなかった」との声をいただきました。



ポッチャ体験の様子(右)

[5] 愛知県犬山市立東小学校の子どもたちから プルトップを受取りました

WAFCAの活動を知った子どもたちがプルトップ集めによる車いす寄贈活動に協力してくれました。実行委員会が作成したチラシ等を通して全校に呼びかけ、11kgものプルトップを集めてくれました。本当にありがとうございました！ ちらし(写真左) 実行委員の子ども達と(右)

